

淡江大学日本語文学科
2023年日本文知国際シンポジウム

期日: 2023年4月29日(土)
会場: 淡江大学淡水キャンパス驚声国際会議ホール

主催: 淡江大学日本語文学科
後援: 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所

0900-0930	受付			
0930-0945	開会式 開会の挨拶: 淡江大学日本語文学科・蔡佩青学科主任 来賓の挨拶: 日本台湾交流協会広報文化部・西田融子主任			
0945-1045	基調講演1 三重大学・山田雄司教授 演題: 歴史と文学の間—『保元物語』崇徳院怨霊譚を中心に— 司会: 淡江大学・劉長輝副教授			
1045-1050	休憩(5分)			
1050-1150	基調講演2 韓国外国語大学・中村八重教授 演題: ポストコロナ時代の地方観光—対馬を事例に— 司会: 淡江大学・冨田哲副教授			
1150-1250	昼食(60分)			
	国際会議ホール		T311	
	座長: 淡江大学・王美玲副教授		座長: 東呉大学・陳淑娟教授	
1250-1350	村瀬洋一(立教大学・教授)	新型コロナ禍における日本社会の特徴—人々の意識と社会階層に関する統計的社会調査—	堀越和男(淡江大学・副教授)	日本語学習のネガティブ感情と自己効力感の関係
	伊藤真利子(東京成徳大学・准教授)	日本の貯蓄文化と戦後郵便貯金	守屋久美子(東京外国語大学・博士後期課程) 林俊成(東京外国語大学・教授)	個別的課題解決型学習としての遠隔日本語教育実習を通じた実習生の学び—専門性としてのTPACKと自己教育力の観点から
1350-1400	休憩(10分)			
	座長: 台湾大学・田世民副教授		座長: 銘伝大学・林玉惠教授	
1400-1500	崔瑛(神奈川大学・准教授)	日本における和菓子業界と教育機関の連携	黄英哲(台中科技大学・副教授)	台湾の日本語専攻生の創作物の出来具合から考える思考力の育成
	野瀬元子(大東文化大学・准教授)	埼玉県史跡におけるヘリテージ・インテグレーションの実践	關百華(淡江大学・副教授) 坂本忠厚(宮城県女川町教育委員会・教育指導員)	国際理解の一環としての競技かるた—台日の小中高校における国際交流の推進への提言—
1500-1520	コーヒーブレイク(20分)			
	座長: 輔仁大学・楊錦昌教授		座長: 東呉大学・劉怡伶教授	
1520-1620	富士池優美(玉川大学・教授) 橋本美香(川崎医療福祉大学・教授) 蔡佩青(淡江大学・副教授)	語彙から見る「西行物語」伝本の特徴—略本系を中心に—	甘利実乃(東京外国語大学・博士後期課程) 王睿琪(東京外国語大学・特別研究員) 林俊成(東京外国語大学・教授)	L2読解におけるAIの自動要約および学習者の再生内容自動評価に関する研究—Sentence-BERTとBERT Scoreを用いた分析—
	今井亨(岐阜聖徳学園大学・教授)	リノベーション国文解釈法	王睿琪(東京外国語大学・特別研究員) 林俊成(東京外国語大学・教授) 甘利実乃(東京外国語大学・博士後期課程)	L2読解におけるAI自動要約文がもたらす効果に関する研究—アイデアユニット(idea unit)を用いた分析—
1620-1630	休憩(10分)			
	座長: 真理大学・戸田一康副教授		座長: 東海大学・黄淑燕副教授	
1630-1730	南雄太(台中科技大学・助理教授)	非サブカルチャー作家としての村上龍—『五分後の世界』シリーズを中心として—	占部匡美(銘伝大学・講師) 虞安寿美(銘伝大学・講師)	「とてもいいです」の中国語翻訳による待遇表現への影響—自己紹介を例に—
	魏世杰(淡江大学・副教授) 霧子渝(淡江大学修士)	利用深度学習偵測日文句型之初探 (中国語による発表)	吳素芳(台北商業大学・助理教授)	FTAバランス探求行動の視点から見る日本語母語話者間の仲間意識の構築過程—Brown&Levisonとの比較を通して—
1730-1740	閉会式			